

平成23年度町立辰野総合病院改革プラン点検報告について

町立辰野総合病院改革プランは、平成21年3月19日に策定し、公立病院としての役割をすすめながら、当初平成25年度黒字化を目指してまいりました。

平成22年2月に新病院建設が上伊那地域医療再生事業の認可を受け、平成22年度実施設計、23・24年度病院建設、24年度秋口新病院開院と具体的に計画が決定しました。また、平成22年3月末整形外科の医師が退職し、常勤医師が6名になりましたが、平成24年1月整形外科1名が常勤体制となり、7名の常勤体制となりました。常勤医師減により、経常収支比率・職員給与比率などにも影響が大きく出ていしましたが、亜急性期病床の定着などにより、入院、外来患者とも23年度は前年度対比増となりました。

病院移転新築も決まり、公立病院改革プランガイドライン（19.12.24総務省自治財政局長通知）にそって平成23年3月18日町立辰野総合病院改革プランを第1次の全面改定を実施しました。それに伴い、移転後の黒字化の目標は平成30年度に変更しました。

本点検報告は、前年度分について翌年9月に点検・評価の結果を公表することに基づくものです。

平成23年度については、平成20・21・22年度の点検を基に、病院経営機能検討委員会を主軸に、移転新築事業の細部協議と経営の改善を中心に話し合い、実行してきました。

在宅復帰については、亜急性期病床15床の運用し、患者の8割以上が自宅に帰っています。また、リハビリを中心とした回復機能強化については、リハビリのスタッフも増員し、日曜日を除く毎日患者へのリハビリを実施しています。さらに、退院後のリハビリについても、訪問リハビリの充実を図っていきます。

平成23年度の決算については、平成15年度以来単年度赤字が続いていましたが、10,402,340円の黒字決算をする事が出来ました。公立病院改革ガイドラインでは、経営の効率化に係る部分については3年程度とされており、ガイドラインの一つの目標を達成する事ができましたが、新病院建設後の経営安定に向け更なる努力を致してまいります。又、23年度決算承認において、累積赤字827,725,853円を資本金にて累積赤字を解消しました。

平成24年10月1日、病院名も町立辰野病院と改称し、新たな地で、新病院の診療を開始はじめました。今後も、改革プランに沿って、病院の経営改善に努めてまいります。

平成24年10月1日

町立辰野病院